
結婚フリーダム

wind

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

結婚フリーダム

【Nコード】

N4938P

【作者名】

wind

【あらすじ】

結婚ドキュメンタリー

10年の衝撃

結婚は制度だ。

人の心は、制度には従えない。

不況のあおりもあって、フリーライターの仕事では自由になるお金が心もとなく、最近、パートに出始めた。誰でもできるデスクワークだから、時給も安い。35歳を過ぎて、本業がままならない身としては贅沢は言えない。結婚して10年を過ぎた、夫の稼ぎがあるから少しは余裕をもって暮らしていける。

近々、結婚するという職場の20代女子がランチしながら、彼がああで、こうで、でもみんなが「今が一番いい時期よ」って言うんです、どうですか？やっぱりそういうもんですか？と幸せそうに話してくるので、どうだろうと考えてみた。

そう言われてみて、私も彼女みたいな時期があったことに気が付いて、驚愕した。まるで共感できない今の自分に驚き、そして、あの頃、同じように「そういうもんよ」と言ったオバ様たちと、全く同じ言葉と気持ちを持っている自分に、愕然としてしまった。

いったい私は、何がどうしてしまったのか。そう、私たち夫婦は。

それとも、最初から、こうただただけなのだろうか。恋は錯覚って、

本当なのかもしれない。

錯覚して結婚して、時がたって正気に戻るのかもしれない。そうして契約を終了する人がいれば、続ける人もいる。最高の関係から、最低の関係まで、人それぞれに。

最高と最低の間で、今、私たちは、どのあたりにいるんだろうと、ぼんやり考えた。

体だけじゃなく心も閉じた出来事

仕事の絡みもあって、自己啓発の本を読む機会が多い。

有名な一冊に、「愛は名詞でなく、動詞で考えるもの」という一節があった。

愛があるか、ないか、ということではなく、「愛とは、行動そのものをさす」ということ。増えたり、減ったりするものではなく、ただ相手を愛する行動をすることだとあった。

なぜ、昔あったように感じたそれが、今はずいぶん無くなってしまったように感じてしまうのだろう。

たとえば、夫がパジャマがわりにしているジャージの古びた質感が、たまらなくイヤになる。

バラエティー番組に笑って、延々と酒を飲みながら、白髪を抜いたり、爪を噛んだりしている姿に、思わず目を背けてしまうのだ。

私が今日のニュースや、感じていることなどを話題にしたときに、「そういうもんだよ」と、何でも知っているように受け流す態度にも、毎度、がっかりする。

あなたなんか、何も知らないくせに。

私の、何ひとつも、知らないくせに。

以前は気にならなかった何もかもが、気に障る。

人間として、家族としては大切に思っているつもりだ。感謝も尽きない。

でも、男としては・・・

いつからか、私達に男女の関係はない。私が何度か拒んで、それっきりだ。

そうして夫は、風俗に時々行くようになっていた。軽い感染症の症状が出てしまったため、白状せざるをえない状況になり、仕方なく白状した。

夫は、ひたすら謝り、私は「自分も悪いのだから」と、理性で許した。

実際、自分を顧みれば、昔から夫に甘え、依存してきた自覚はあった。私は結局、精神的、経済的に自立できていないんだと思う。「自分は、ああはなるまい」と思っていた時分の母親にそっくりで、自己嫌悪に陥る。

だから、愛が目減りしてしまったように感じるのも、夫を受け入れられないも、結果、夫が風俗に行くようになったことも、すべて「私のせいでもある」と思ったのだ。

それでも。

それから心の中に、憎しみと落胆のような感情が、黒い影のように、こびりついた焦げのように大きく残ってしまった。

夫への愛が希薄に感じても、彼への信頼と尊敬は守られていた。それまでもが、どんどん漏れ出して、冷たい感情にすり替わっていく感覚。

ナゼ、ニゲタノ？

カッコワルイ。

裏切られたという気持ちが、何度もこみあげてくる。

そんな事態を招いた、自分への落胆と同時に。

状況は、もっと悪くなった。

私は夫に、体だけじゃなく、心まで閉じるようになってしまった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4938p/>

結婚フリーダム

2010年12月25日23時04分発行